
(1) ご自身の行程を描く

ひとつ目です。

これは一番大切なことです。

老後の生活を迎える前に、
老後の生活を描いておくことです。

退職前は、何かと忙しくて、

老後の生活はその時になってから考える。

という方もみえます。

しかし、これまでは主に自宅と勤め先を往復し、
勤め先では創造的な業務に携わっていた方でも、

退職後は、
一日の生活をすべてご自分で作成することが必要で
そのために時間も労力もかかります。

すぐには出来るものではありません。

なかには、
退職後は、すでに旅行に行く計画があるといわれ、
実際に旅行に行かれる方もみえます。

しかし、なかには
行きたいところをいきつくすると、
その後、することが無くなってしまいう方もあります。

退職後、毎日の生活はその生活が始まってから考える。

または、退職後の直近の計画は持っていても
その計画の実行したら
次に何をしよう。

つまり、体系的な老後の計画を立てておかないと
考えている間に、
歳はだんだんと取って行ってしまいます。

それとともに貯蓄は減っていきます。

心細くなるという方もいるようです。

旅行に行くと言った

ワンポイント「点」の計画だけではなく、

その後の生活も含めた
体系的な「線」の計画も必要なのです。

年金の収入と今までの蓄えで
今後どのような生活ができるのか？

歳をとってから悩んで、
このような状況になってから、

F Pに相談にお越しいただいても
善後策を提案することは、
率直に申し上げて難しいです。

つまり、現役の間に
老後の生活をどのように送りたいのか、

実現できるかは二の次に
送りたい生活を描いてみることです。

F Pは、描いた生活に、
老後の生活をしていく上で、
必要であろう経費を加えていくことができます。

(2) 無駄をなくす

次に、F Pといえば、

未だに保険を販売している人

と知っている方もいるようです。

確かに、家計支出の無駄をなくすのに、
注目するのが、

現在加入中の保険商品の内容と
固定費として毎月家計から支出される保険料です。

必要以上に保険に加入している場合、

見直しをして保険料の負担を減らす提案をしますので、
F Pが保険商品に関わっていることは、
間違いはないかもしれません。

F Pは、

その他にも、住宅ローンを借り替えるのにこの借換えは有効なものか、その検証をします。

無駄をなくす意味では、

資産を相続する場合に、

子どもが歳をとってから相続をしても有効な相続にならない場合があります。

有効な相続とは、例えば、子どもが住宅を建てる時にお金の援助をすることです。

子どもに援助して、自分たちの老後の生活が成り立つためには、いくらまでの援助ならいいのか？

その金額を算出するのもFPです。

(3) 家計収支のシミュレーション

3つ目のFPの役割として、

通常、退職後に急に家計収支を抑えることは難しいことです。

特に支出の方は、

いままで勤めていた間は、ある程度時間の拘束もあり、毎日使うお金も決まっていたでしょう。

しかし、退職の生活では、

すべて家計からの支出になります。

また、時間の拘束からも解放されます。

従って、外出をすればするだけ家計支出が増えていきます。

自宅にいれば、それだけ光熱費も増えるでしょう。

どのくらい増えるのかを予測するためにも、

現在の家計収支の具体的な、

- ・収入、
- ・支出
- ・貯蓄額

それに、その他の資産などを含めて、

旅行に行くならいくらまで、
家の修繕の予算はいくらまで、
毎月の家計の支出はいくらまで、

今後の年金として家計に入る収入や
現在の貯蓄を取り崩していくにも、

細かい金額まで出して計算すると、
生活をしていくのが面白くなくなりますので、

おおよその金額を算出して、

生涯、安心して生活できる

基本的な
家計収支の額をシミュレーションするに、
FPはお役に立てるのです。

設計は退職までに完了すること

繰り返しになりますが、

退職後、勤める必要がなくなり
生活の環境は一変します。

家計の収入は、
年金が中心になると当然ですが
現役の時代よりは減ります。

中には、退職後、
65歳になって公的年がもらえるまで
収入が激減する
と予想できる方もみえるでしょう。

しかし、支出の額は退職後の大幅には減りません。

ひょっとすると、上記のほかに
医療費や介護の費用などが増えて、
現役の時代より増えるかもしれません。

そこで、客観的に家計収支を見ることのできる現役中に、
老後の生活を
設計しておくことが大切なのです。

*:

■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ

*:

老後の生活に入ってから

老後の生活の設計は出来ません

現役中に

時間的なゆとりを持ってすることが肝です

*:

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

*:

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 16 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、日本の方と他の国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。

2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！ 頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

なぜ、「人生の添乗員（R）」なのか？

詳しいプロフィールはこちらから

http://www.makino-fp.com/documents/fpmakino_009.pdf

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員（R）」どこまでも行きます。

相談者にとって、他人を気にすることなく、
ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

*:

■編集後記

*:

毎年、退職金の使い方の相談を受けます。

しかし、退職金は、老後の生活費用です

一度にもらいますので、
実際に使うまでに
お金に働いてもらうことを考えるのは
誰しも思うことです。

しかし、金融商品に運用するにしても、

今までに運用の経験がある方ならまだしも、
まったく経験のない方には、
金融商品を運用してお金を増やすことには、
無理があるでしょう。

金融商品で増やしたいのであれば
退職までに十分な期間の運用経験が必要でしょう。

従って、退職金を銀行の定期預金に預けておくや、

個人向け国債を購入することは、

元本が保証されており、

賢明な判断のひとつでしょう。

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト : <http://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
